

# 3R資源化による廃棄物コスト削減コンサルティング

## ●定期的に排出される廃棄物を分別してコスト削減！

顧客の廃棄物排出状況を調査・分析し、資源化できるものや資源化のための分別方法を策定します。従来単純に廃棄物としてコストをかけて処理していたものを、資源化推進することで、廃棄物処理コストの削減を行います。

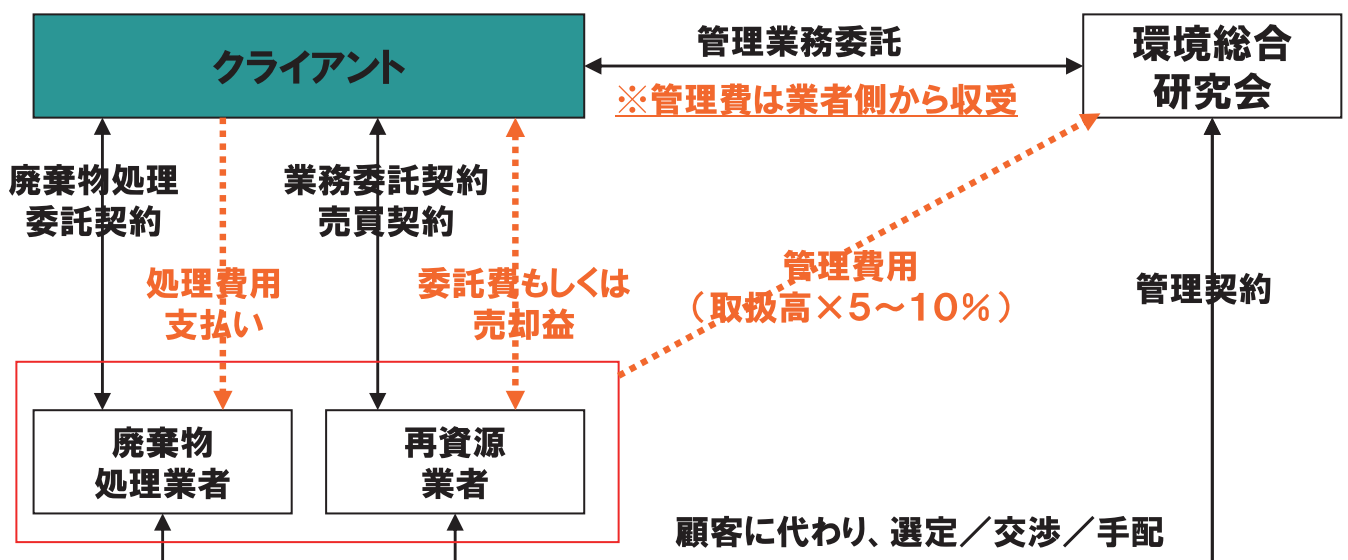
リサイクル業者や廃棄物業者の再編成やコスト構造を変えることで、コスト削減幅から当社管理費を捻出しますので、**顧客企業の追加コストは基本的に発生しません。**



- ・リサイクル可能なものを分別(低コスト処理)
- ・自転車や鉄くずは有価で買取も
- ・リサイクルできないものだけを産廃処理

これまでの実績で平均して10～30%のコストダウン！

## 【ビジネスフローおよびサービスフィー】



- ・廃棄物処理管理費(基本的には業者より收受)  
廃棄物処理費の取扱高×5～10%
- ・有価物売買の管理費  
古紙: ~2円/kg 金属類: 買取額×3～5%

# 3R資源化によるコスト削減事例

## 【企業概要】

設立:昭和45年  
 資本金:3億1200万円  
 業種:家具、インテリア、ホームファッションなどの販売  
 住宅の新築、増改築、室内装飾のデザイン施行等  
 店舗数:多摩地域を中心に11店舗を展開

## ■改善前状況

- ・家具の梱包材(ビニール、発砲スチロール等)が大量に排出されるが、そのほとんどが産業廃棄物として廃棄されていた。
- ・また、家具の買換え時に古い家具を引き取る場合があり、それも粗大ゴミ(産業廃棄物)として廃棄していた。

## ■改善策

- ・分別の徹底をはかり、特にビニールなどの廃プラ類についてはリサイクルを前提とした処理業者へシフト。結果として混合廃棄物としての廃棄物処理が減少しコストダウンに。
- ・また、引取家具については、ガラス・金具などを分別することで木屑としてリサイクル(RPF:固形燃料化)するフローへシフト、上記と同様のコストダウン及び環境負荷軽減に。

(金額:千円単位)

企業名	1tあたり単価(千円)	項目	19年度(改善前)	構成比	20年度(改善後)	構成比	改善前構成比で20年度を試算
既存取引業者	51	持込重量(t)	711.6	81.8%	394.8	40.4%	799
		処分費(千円)	36,432	89.0%	17,388	60.8%	40,904
新規紹介業者(主に廃プラ)	33	持込重量(t)	57.6	6.6%	50.4	5.2%	64.7
		処分費(千円)	1,872	4.6%	1,752	6.1%	2,102
新規紹介業者(主に木屑)	26	持込重量(t)	100.8	11.6%	531.6	54.4%	113.2
		処分費(千円)	2,600	6.4%	9,480	33.1%	2,664
合計		持込重量(t)	870	100.0%	976.8	100.0%	976.8
		処分費(千円)	40,944	100.0%	28,620	100.0%	45,970

廃棄物量は100t強増加しているが、コストは1200万円以上ダウン(前年比で30%ダウン)

(廃棄物量の増加は中古家具の買換えキャンペーンにより売上が増加したとともに引取家具が増えたため)

※分別・リサイクルによる改善を行わなかった場合には500万円のコストアップ(前年比12%アップ)になっていた



分別により、混合廃棄物として廃棄していた割合が81.8%から40.4%に半減いたしました。これはコスト削減と同時に全体の60%(重量で)リサイクルされたということであり、環境負荷低減にも寄与しております。

